

1. 授業の概要(ねらい)

文化心理学の各論として、西洋の文化とアジアの文化を比較する。
特に、西洋の文化とアジアの文化の相違点がどのように生み出されたのかについて解説する。

2. 授業の到達目標

- ①文化心理学的なものの見方・考え方を修得する。
- ②西洋の文化とアジアの文化の特徴について説明できる。
- ③西洋の文化とアジアの文化の起源について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

毎回のリアクションペーパーの提出(75%)、期末の授業内試験(25%)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しない。

参考文献

内田由紀子 『これからの幸福について——文化的幸福観のすすめ』2020 新曜社

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を自主学習すること。
わからない専門用語の意味を自分で調べること。
MELICで図書を検索し借りること。

6. その他履修上の注意事項

文化心理学Ⅰと併せて履修することが望ましいが、文化心理学Ⅱのみの受講も可能である。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 西洋の文化とアジアの文化(1)古代ギリシア人と中国人の世界観について学ぶ
- 【第3回】 西洋の文化とアジアの文化(2)分析的思考と包括的思考について学ぶ
- 【第4回】 西洋哲学と東洋哲学について学ぶ
- 【第5回】 西洋哲学の特徴について学ぶ
- 【第6回】 ヨーロッパ人の世界像について学ぶ(オンライン授業)
- 【第7回】 雑種文化について学ぶ
- 【第8回】 動機づけについての文化心理学について学ぶ
- 【第9回】 文化的幸福観(1)文化的幸福観の概要について学ぶ
- 【第10回】 文化的幸福観(2)幸福の尺度について学ぶ
- 【第11回】 文化的自己観:相互独立的自己観と相互協調的自己観について学ぶ
- 【第12回】 日本人の帰属傾向について学ぶ
- 【第13回】 文化的幸福観(3)文化的自己観と幸福観について学ぶ
- 【第14回】 幸福感の国際比較研究について学ぶ
- 【第15回】 まとめと試験